

第 122 回

令和5年10月～12月期

中空知管内景況レポート

令和6年1月発刊

特別調査「2024年(令和6年)の経営見通し」



ふれあいを大切にする

北門信用金庫

第122回 北門しんきん 中空知管内中小企業景気動向調査

北門信金では、中空知管内の中小企業の景気動向を把握するため、滝川・砂川・芦別・赤平・歌志内・奈井江・上砂川・浦臼・新十津川の各市町に所在する企業のご協力をいただき、地域企業景気動向調査を実施しております。

この調査は、毎年四半期ごとに実施しておりますが、今回は令和5年10月～12月期の業況実績と令和6年1月～3月期の業況見通しについて調査した結果をとりまとめたものです。

なお、今回は特別調査「2024年(令和6年)の経営見通し」を実施しております。

令和6年1月

北門信用金庫 企画部(広報)

滝川市栄町3丁目3番4号
TEL (0125)22-1185(直通)

調査要領

1. 調査時点 令和5年12月
2. 調査対象期間 令和5年10月～12月実績
令和6年1月～3月見通し
3. 調査企業 当金庫のお取引先企業

製造業	19社	建設業	38社
卸売業	7社	運輸業	9社
小売業	30社	不動産業	4社
サービス業	16社	計	123社

4. 調査方法 当金庫職員による面接聞き取り法
5. 分析方法 DI判断指数を中心に分析

DI=Diffusion Index

DI判断指数

各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業数の全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業数の構成比との差

※「%」表示は、小数第二位を四捨五入しております。

中空知の景気動向 (令和5年10~12月期)

調査企業 123社
回答企業 122社
回答率 99.2%

業況は小幅に改善、1~3月期は悪化を予想

今期の実績 (5年10~12月期)

業況判断DIは▲7となり、前期比5ポイント改善、前年同期比では10ポイント改善しました。
売上額判断DIは7となり、前期比8ポイント悪化、収益判断DIは4となり、前期比1ポイント改善しました。
また販売価格判断DIは26となり、前期比2ポイント上昇、仕入価格判断DIは48となり、前期比7ポイント下降しました。
業種別では、建設業で悪化、サービス業で横這いの他は5業種で改善となりました。

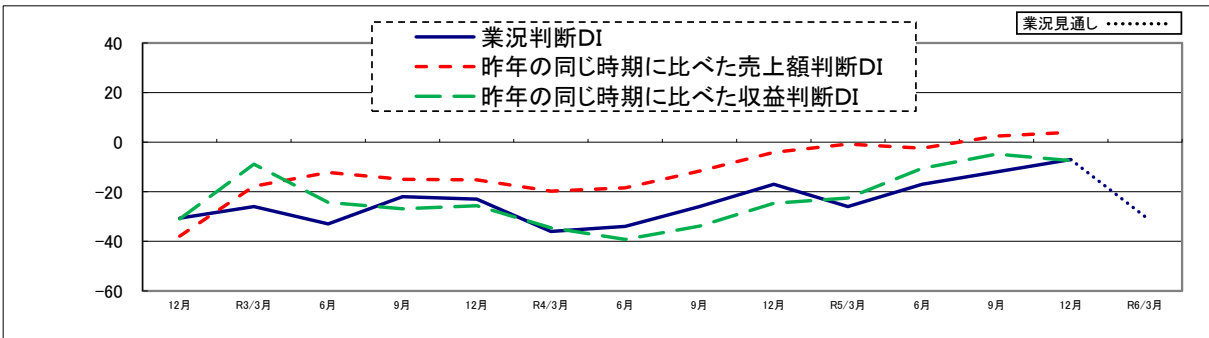
来期の見通し (6年1~3月期)

業況判断の見通しDIは▲30となり、今期実績比23ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲27となり、今期実績比34ポイント悪化、収益判断見通しDIについては▲28となり、今期実績比32ポイント悪化する予想です。
また販売価格判断見通しDIは14となり、今期実績比12ポイント下降、仕入価格判断見通しDIは43となり、今期実績比5ポイント下降する予想です。
業種別では、全業種で悪化する見込みとなっています。

DI値

	R4/10~12月	R5/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		R6/1~3月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲17	▲26	▲17	▲12	▲7	5	10	▲30	▲23
売上額	0	▲22	▲3	15	7	▲8	7	▲27	▲34
収益	▲23	▲35	▲8	3	4	1	27	▲28	▲32
販売価格	29	26	26	24	26	2	▲3	14	▲12
仕入価格	66	64	58	55	48	▲7	▲18	43	▲5
在庫	1	0	▲1	0	0	0	▲1	▲2	▲2
資金繰り	▲11	▲9	▲7	▲4	▲1	3	10	▲10	▲9
残業時間	▲2	▲3	▲12	2	▲4	▲6	▲2	▲8	▲4
人手	▲50	▲42	▲40	▲47	▲53	▲6	▲3	▲41	12
現在設備	▲16	▲11	▲17	▲13	▲18	▲5	▲2	▲15	3

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答(不動産業除く)

設備投資実績内訳(5年10~12月)

事業用土地・建物	1件
機械設備の新・増設	11件
機械・設備の更改	11件
事務機器	7件
車両	15件
その他	3件

設備投資計画内訳(6年1~3月)

事業用土地・建物	3件
機械設備の新・増設	5件
機械・設備の更改	10件
事務機器	5件
車両	8件
その他	4件

今期(5年10~12月)は、37社(31.4%)が設備投資を実施しており、前年同期を7社上回りました。
来期(6年1~3月)に設備投資を計画している企業は27社(22.9%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	人手不足	57社
2位	原材料高・材料価格の上昇	45社
3位	売上の停滞・減少	40社

当面の重点経営施策

1位	人材を確保する	64社
2位	経費を節減する	61社
3位	販路を広げる	32社

製造業

(令和5年10~12月期)

調査企業 19社
回答企業 19社
回答率 100.0%

業況は改善、1~3月期は悪化を予想

今期の実績 (5年10~12月期)

業況判断DIは▲11となり、前期比10ポイント改善、前年同期比では7ポイント改善しました。
売上額判断DIは5となり、前期比5ポイント悪化、収益判断DIは0となり、前期比11ポイント改善しました。
また販売価格判断DIは32となり、前期比21ポイント上昇、原材料価格判断DIは32となり、前期比10ポイント下降しました。

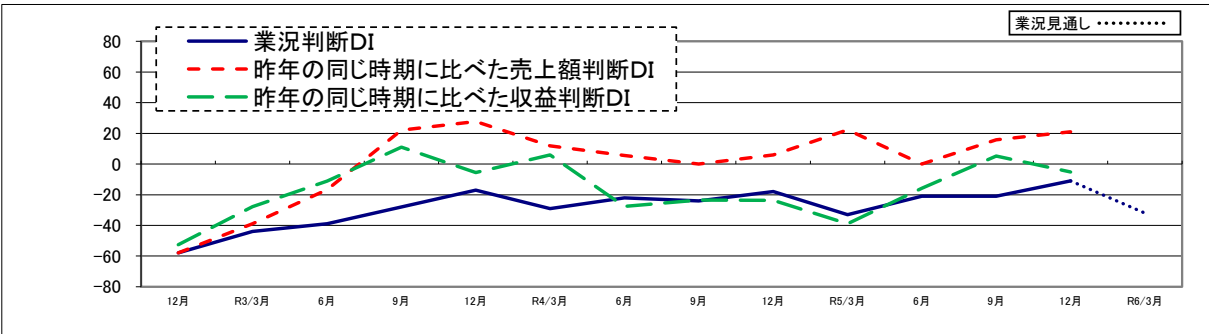
来期の見通し (6年1~3月期)

業況判断の見通しDIは▲32となり、今期実績比21ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲39となり、今期実績比44ポイント悪化、収益判断見通しDIは▲28となり、今期実績比28ポイント悪化する見通しです。
また販売価格判断見通しDIは11となり、今期実績比21ポイント下降、原材料価格判断見通しDIは44となり、今期実績比12ポイント上昇する見込みです。

DI値

	R4/10~12月	R5/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		R6/1~3月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲18	▲33	▲21	▲21	▲11	10	7	▲32	▲21
売上額	▲41	▲28	16	10	5	▲5	46	▲39	▲44
受注残	▲41	▲11	21	0	▲16	▲16	25	▲33	▲17
収益	▲53	▲56	0	▲11	0	11	53	▲28	▲28
販売価格	29	17	42	11	32	21	3	11	▲21
原材料価格	47	56	53	42	32	▲10	▲15	44	12
原材料在庫	12	0	0	5	▲5	▲10	▲17	0	5
資金繰り	▲12	▲17	▲16	▲21	▲11	10	1	▲17	▲6
残業時間	▲18	▲17	▲21	▲21	▲16	5	2	▲21	▲5
人手	▲59	▲33	▲32	▲42	▲26	16	33	▲26	0
現在設備	▲41	▲28	▲32	▲37	▲37	0	4	▲37	0

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(5年10~12月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	2件
機械・設備の更改	5件
事務機器	1件
車両	3件
その他	0件

設備投資計画内訳(6年1~3月)

事業用土地・建物	1件
機械設備の新・増設	3件
機械・設備の更改	6件
事務機器	0件
車両	2件
その他	0件

今期(5年10~12月)は8社(42.1%)が設備投資を実施しており、前年同期を1社上回りました。
来期(6年1~3月)に設備投資を計画している企業は8社(42.1%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	原材料高・材料価格の上昇	10社
2位	売上の停滞・減少、人件費の増加	6社
2位	人件費以外の経費の増加	6社

当面の重点経営施策

1位	販路を広げる	11社
2位	人材を確保する	8社
3位	経費を節減する	7社

卸売業

(令和5年10~12月期)

調査企業 7社
回答企業 7社
回答率 100.0%

業況は改善、1~3月期は悪化を予想

今期の実績 (5年10~12月期)

業況判断DIは▲14となり、前期比43ポイント改善、前年同期比では横這いとなりました。
売上額判断DIは▲14となり、前期比57ポイント悪化、収益判断DIは▲14となり、前期比43ポイント悪化しました。
また販売価格判断DIは▲29となり、前期比43ポイント下降、仕入価格判断DIは▲14となり、前期比43ポイント下降しました。

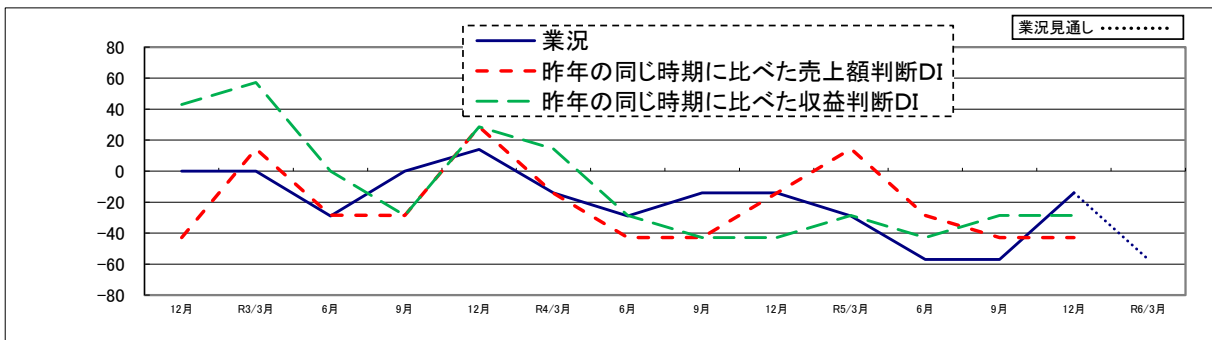
来期の見通し (6年1~3月期)

業況判断の見通しDIは▲57となり、今期実績比43ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲57となり、今期実績比43ポイント悪化、収益判断見通しDIは▲29となり、今期実績比15ポイント悪化する予想です。
また販売価格判断見通しDIは▲29となり、今期実績比横這い、仕入価格判断見通しDIは▲14となり、今期実績比横這いとなる見込みです。

DI値

	R4/10~12月	R5/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月			R6/1~3月	
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲14	▲29	▲57	▲57	▲14	43	0	▲57	▲43
売上額	43	▲71	14	43	▲14	▲57	▲57	▲57	▲43
収益	▲14	▲71	29	29	▲14	▲43	0	▲29	▲15
販売価格	43	0	43	14	▲29	▲43	▲72	▲29	0
仕入価格	57	29	29	29	▲14	▲43	▲71	▲14	0
在庫	▲14	29	29	14	29	15	43	0	▲29
資金繰り	0	14	▲14	14	0	▲14	0	0	0
残業時間	33	17	14	0	0	0	▲33	0	0
人手	▲43	▲43	▲29	▲50	▲43	7	0	▲14	29
現在設備	▲33	▲33	▲29	▲29	▲29	0	4	▲29	0

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(5年10~12月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	1件
機械・設備の更改	0件
事務機器	0件
車両	1件
その他	0件

設備投資計画内訳(6年1~3月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	0件
機械・設備の更改	0件
事務機器	1件
車両	0件
その他	0件

今期(5年10~12月)は2社(28.6%)が設備投資を実施しており、前年同期横這いとなりました。
来期(6年1~3月)に設備投資を計画している企業は1社(14.3%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	売上の停滞・減少	5社
2位	人手不足、取引先の減少	2社
2位	同業者間の競争激化	2社

当面の重点経営施策

1位	販路を広げる	4社
1位	経費を節減する	4社
1位	情報力を強化する	4社

小売業

(令和5年10~12月期)

調査企業 30社
回答企業 29社
回答率 96.7%

業況は改善、1~3月期は悪化を予想

今期の実績 (5年10~12月期)

業況判断DIは▲4となり、前期比10ポイント改善、前年同期比では43ポイント改善しました。
売上額判断DIは17となり、前期比3ポイント改善、収益判断DIは▲4となり、前期比7ポイント悪化しました。
また販売価格判断DIは38となり、前期比7ポイント下降、仕入価格判断DIは52となり、前期比4ポイント上昇しました。

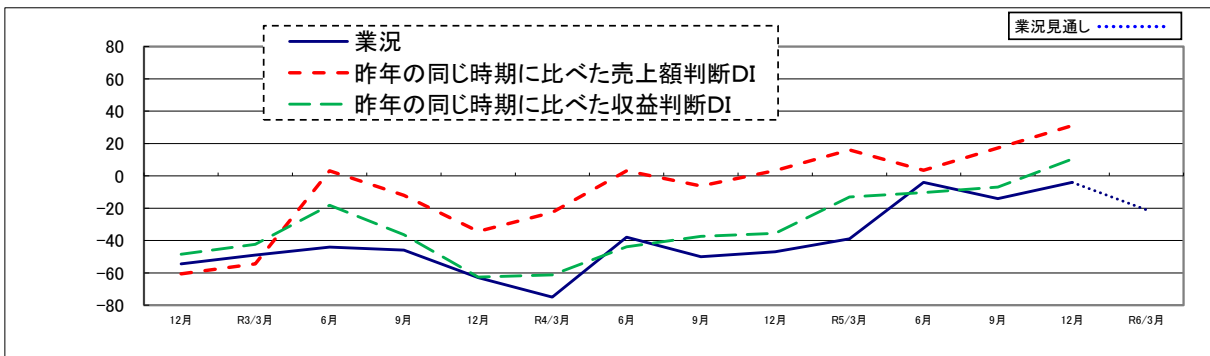
来期の見通し (6年1~3月期)

業況判断の見通しDIは▲21となり、今期実績比17ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲21となり、今期実績比38ポイント悪化、収益判断見通しDIは▲31となり、今期実績比27ポイント悪化する予想です。
また販売価格判断見通しDIは24となり、今期実績比14ポイント下降、仕入価格判断見通しDIは52となり、今期実績比横這いとなる見込みです。

DI値

	R4/10~12月	R5/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		R6/1~3月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲47	▲39	▲4	▲14	▲4	10	43	▲21	▲17
売上額	▲6	▲13	4	14	17	3	23	▲21	▲38
収益	▲29	▲19	▲10	3	▲4	▲7	25	▲31	▲27
販売価格	48	45	35	45	38	▲7	▲10	24	▲14
仕入価格	71	55	48	48	52	4	▲19	52	0
在庫	0	▲7	▲10	▲10	▲3	7	▲3	▲3	▲0
資金繰り	▲23	▲23	▲7	▲7	0	7	23	▲10	▲10
残業時間	▲6	▲13	▲7	7	▲10	▲17	▲4	▲14	▲4
人手	▲32	▲32	▲35	▲38	▲45	▲7	▲13	▲31	14
現在設備	▲10	▲13	▲21	▲10	▲17	▲7	▲7	▲17	0

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(5年10~12月)

事業用土地・建物	0件
事務機器	0件
車両	0件
その他	2件

設備投資計画内訳(6年1~3月)

事業用土地・建物	0件
事務機器	0件
車両	0件
その他	3件

今期(5年10~12月)は、2社(6.9%)が設備投資を実施しており、前年同期を2社下回りました。
来期(6年1~3月)に設備投資を計画している企業は3社(10.3%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	売上の停滞・減少	10社
1位	人手不足	10社
1位	利幅の縮小	10社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	17社
2位	人材を確保する	10社
3位	教育訓練を強化する	5社

サービス業

(令和5年10~12月期)

調査企業 16社
回答企業 16社
回答率 100.0%

業況は横這い、1~3月期は悪化を予想

今期の実績 (5年10~12月期)

業況判断DIは0となり、前期比横這い、前年同期比では横這いとなりました。
売上額判断DI▲13となり、前期比25ポイント悪化、収益判断DIは6となり、前期比6ポイント悪化しました。
また料金価格判断DIは38となり、前期比3ポイント上昇、材料価格判断DIは63となり、前期比8ポイント下降しました。

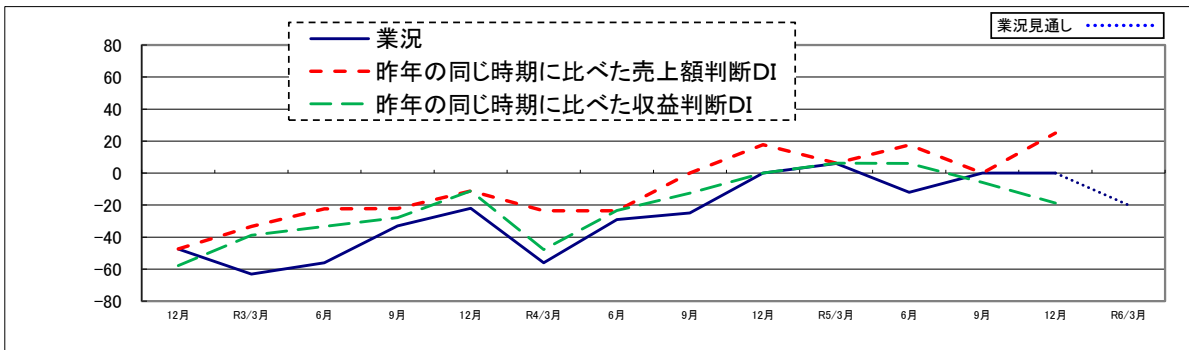
来期の見通し (6年1~3月期)

業況判断の見通しDIは▲20となり、今期実績比20ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲19となり、今期実績比6ポイント悪化、収益判断見通しDIは▲19となり、今期実績比25ポイント悪化する見通しです。
また料金価格判断見通しDIは19となり、今期実績比19ポイント下降、材料価格判断見通しDIは44となり、今期実績比19ポイント下降する見込みです。

DI値

	R4/10~12月	R5/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		R6/1~3月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	0	6	▲12	0	0	0	0	▲20	▲20
売上額	6	▲25	6	12	▲13	▲25	▲19	▲19	▲6
収益	0	▲25	6	12	6	▲6	6	▲19	▲25
料金価格	41	44	41	35	38	3	▲3	19	▲19
材料価格	82	88	82	71	63	▲8	▲19	44	▲19
資金繰り	▲12	▲13	▲18	▲18	▲6	12	6	▲19	▲13
残業時間	12	27	0	31	0	▲31	▲12	6	6
人手	▲59	▲69	▲59	▲59	▲81	▲22	▲22	▲69	12
現在設備	▲18	▲19	▲24	▲12	▲25	▲13	▲7	▲19	6

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(5年10~12月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	4件
機械・設備の更改	1件
事務機器	2件
車両	3件
その他	1件

設備投資計画内訳(6年1~3月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	0件
機械・設備の更改	1件
事務機器	2件
車両	1件
その他	1件

今期(5年10~12月)は、9社(56.3%)が設備投資を実施しており、前年同期を5社上回りました。
来期(6年1~3月)に設備投資を計画している企業は4社(25.0%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	人手不足	10社
2位	原材料高・材料価格の上昇	7社
3位	売上の停滞・減少	5社

当面の重点経営施策

1位	人材を確保する	13社
2位	経費を節減する	8社
3位	販路を広げる	6社

建設業

(令和5年10~12月期)

調査企業 38社
回答企業 38社
回答率 100.0%

業況は悪化、1~3月期も悪化を予想

今期の実績 (5年10~12月期)

業況判断DIは▲20となり、前期比23ポイント悪化、前年同期比では1ポイント改善しました。
売上額判断DIは5となり、前期比16ポイント悪化、収益判断DIは3となり、前期比3ポイント改善しました。
また請負価格判断DIは14となり、前期比3ポイント上昇、材料価格判断DIは55となり、前期比6ポイント下降しました。

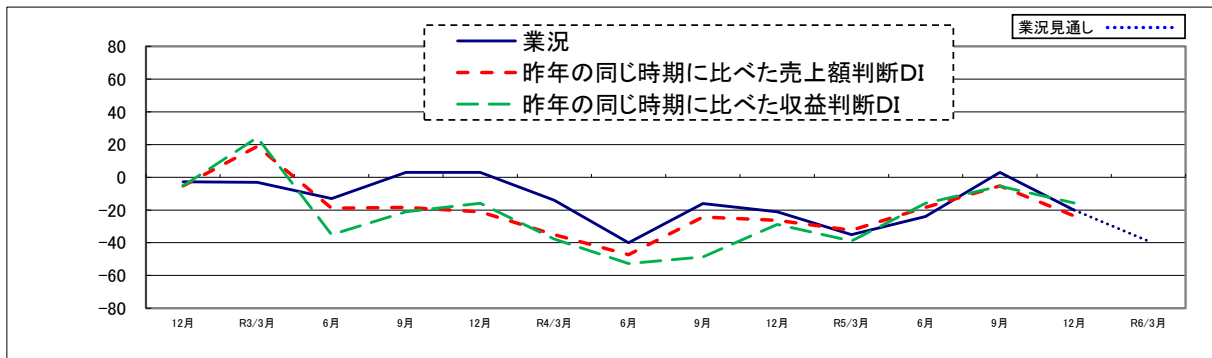
来期の見通し (6年1~3月期)

業況判断の見通しDIは▲39となり、今期実績比19ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲30となり、今期実績比35ポイント悪化、収益判断見通しDIは▲32となり、今期実績比35ポイント悪化する予想です。
また請負価格判断見通しDIは11となり、今期実績比3ポイント下降、材料価格判断見通しDIは51となり、今期実績比4ポイント下降する見込みです。

DI値

	R4/10~12月	R5/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		R6/1~3月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲21	▲35	▲24	3	▲20	▲23	1	▲39	▲19
売上額	8	▲16	▲29	21	5	▲16	▲3	▲30	▲35
受注残	▲19	▲45	3	19	▲11	▲30	8	▲42	▲31
施工高	▲8	▲35	▲21	10	▲8	▲18	0	▲35	▲27
収益	▲26	▲41	▲26	0	3	3	29	▲32	▲35
請負価格	8	14	11	11	14	3	6	11	▲3
材料価格	74	70	69	61	55	▲6	▲19	51	▲4
在庫	3	3	0	3	0	▲3	▲3	▲3	▲3
資金繰り	▲3	0	8	11	3	▲8	6	▲8	▲11
残業時間	▲3	▲11	▲21	▲8	▲3	5	0	▲5	▲2
人手	▲55	▲38	▲40	▲58	▲58	0	▲3	▲43	15
現在設備	▲3	5	3	0	▲5	▲5	▲2	0	5

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(5年10~12月)

事業用土地・建物	1件
機械設備の新・増設	4件
機械・設備の更改	4件
事務機器	4件
車両	4件
その他	0件

設備投資計画内訳(6年1~3月)

事業用土地・建物	2件
機械設備の新・増設	1件
機械・設備の更改	3件
事務機器	2件
車両	4件
その他	0件

今期(5年10~12月)は、12社(31.6%)が設備投資を実施しており、前年同期を3社上回りました。
来期(6年1~3月)に設備投資を計画している企業は9社(23.7%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	原材料高・材料価格の上昇	24社
1位	人手不足	24社
3位	売上の停滞・減少、下請けの確保難	10社

当面の重点経営施策

1位	人材を確保する	27社
2位	技術力を高める	22社
3位	経費を節減する	17社

運輸業

(令和5年10~12月期)

調査企業 9社
回答企業 9社
回答率 100.0%

業況は改善、1~3月期は悪化を予想

今期の実績 (5年10~12月期)

業況判断DIは22となり、前期比55ポイント改善、前年同期比では11ポイント悪化しました。
売上額判断DIは33となり、前期比33ポイント改善、収益判断DIは33となり、前期比22ポイント改善しました。
また料金価格判断DIは56となり、前期比12ポイント上昇、材料価格判断DIは67となり、前期比22ポイント下降しました。

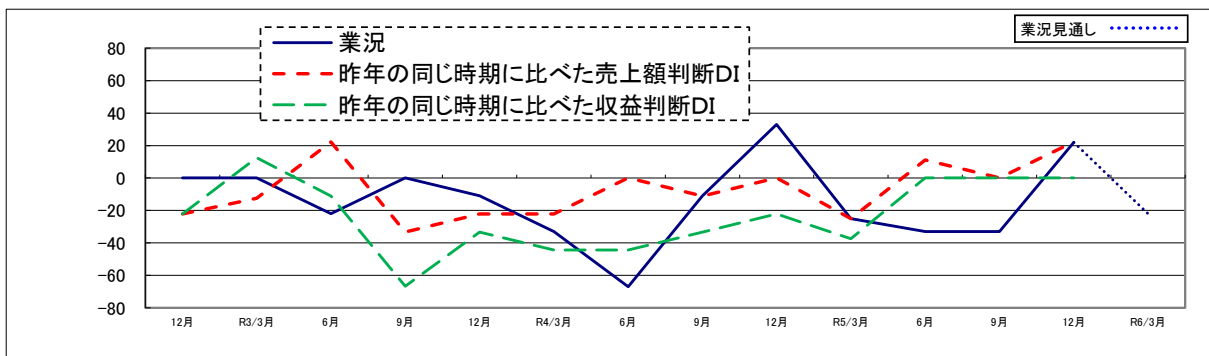
来期の見通し (6年1~3月期)

業況判断の見通しDIは▲22となり、今期実績比44ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲22となり、今期実績比55ポイント悪化、収益判断見通しDIは▲33となり、今期実績比66ポイント悪化する見込みです。
また料金価格判断見通しDIは11となり、今期実績比45ポイント下降、材料価格判断見通しDIは33となり、今期実績比34ポイント下降する見込みです。

DI値

	R4/10~12月	R5/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		R6/1~3月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	33	▲25	▲33	▲33	22	55	▲11	▲22	▲44
売上額	33	▲50	▲11	0	33	33	0	▲22	▲55
収益	22	▲50	▲11	11	33	22	11	▲33	▲66
料金価格	22	13	0	44	56	12	34	11	▲45
材料価格	44	88	44	89	67	▲22	23	33	▲34
資金繰り	▲22	▲38	▲33	▲22	0	22	22	▲11	▲11
残業時間	22	0	▲11	22	22	0	0	0	▲22
人手	▲67	▲50	▲56	▲22	▲78	▲56	▲11	▲56	22
現在設備	▲33	▲13	▲33	▲13	▲13	0	20	0	13

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(5年10~12月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	0件
機械・設備の更改	1件
事務機器	0件
車両	4件
その他	0件

設備投資計画内訳(6年1~3月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	1件
機械・設備の更改	0件
事務機器	0件
車両	1件
その他	0件

今期(5年10~12月)は、4社(44.4%)が設備投資を実施しており、前年同期横這いとなりました。
来期(6年1~3月)に設備投資を計画している企業は2社(22.2%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	原材料高・材料価格の上昇	4社
1位	人手不足	4社
3位	売上の停滞・減少、人件費の増加	3社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	7社
2位	人材を確保する	5社
3位	労働条件を改善する	4社

不動産業

(令和5年10~12月期)

調査企業 4社
回答企業 4社
回答率 100.0%

業況は改善、1~3月期は悪化を予想

今期の実績 (5年10~12月期)

業況判断DIは25となり、前期比25ポイント改善、前年同期比では42ポイント悪化しました。
売上額判断DIは0となり、前期比25ポイント改善、収益判断DIは50となり、前期比50ポイント改善しました。
また販売価格判断DIは0となり、前期比25ポイント上昇、仕入価格判断DIは50となり、前期比25ポイント上昇しました。

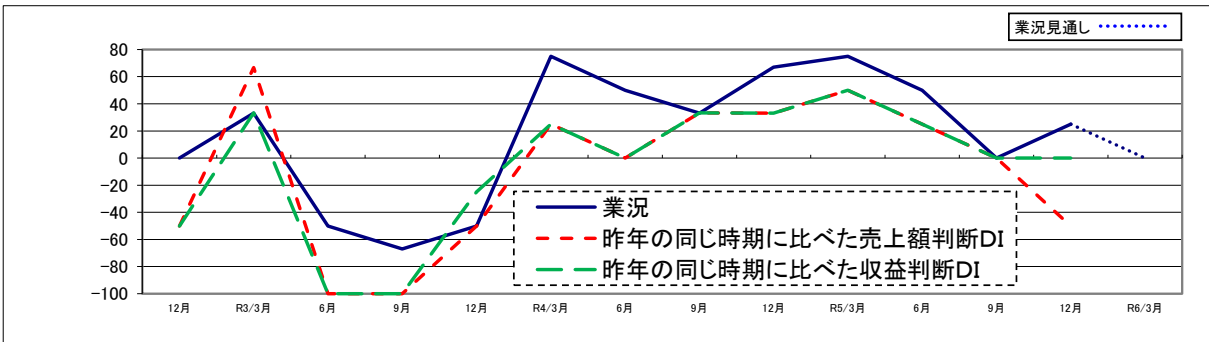
来期の見通し (6年1~3月期)

業況判断の見通しDIは0となり、今期実績比25ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは25となり、今期実績比25ポイント改善、収益判断見通しDIは25となり、今期実績比25ポイント悪化する予想です。
また販売価格判断見通しDIは25となり、今期実績比25ポイント上昇、仕入価格判断見通しDIは25となり、今期実績比25ポイント下降する見込みです。

DI値

	R4/10~12月	R5/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月			R6/1~3月	
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	67	75	50	0	25	25	▲42	0	▲25
売上額	▲33	25	50	▲25	0	25	33	25	25
収益	▲33	25	25	0	50	50	83	25	▲25
販売価格	0	25	0	▲25	0	25	0	25	25
仕入価格	0	25	25	25	50	25	50	25	▲25
在庫	▲33	▲25	0	0	0	0	33	0	0
資金繰り	0	75	0	25	25	0	25	25	0
残業時間	▲67	50	0	0	0	0	67	0	0
人手	▲33	▲75	▲25	▲25	▲25	0	8	▲50	▲25

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



経営上の問題点と当面の重点経営施策 (上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	販売商品の不足・商品物件の不足	3社
2位	人手不足	2社
2位	人件費の増加	2社

当面の重点経営施策

1位	情報力を強化する	2社
1位	販路を広げる	2社
3位	経費を節減する、人材を確保する	1社

特別調査

2024年(令和6年)の経営見通し

調査概要

この調査は、中空知管内企業に対して「2024年(令和6年)の経営見通し」をテーマに、同業他社及び他業態動向の情報として各企業の経営に役立てていただくことを目的に実施したものです。

■調査時点	令和5年12月
■調査地域	中空知管内(当金庫本支店所在地)
■調査方法	当金庫職員による面接聞き取り法
■調査企業	当金庫のお取引先企業

内訳	製造業	19社	建設業	38社
	卸売業	7社	運輸業	9社
	小売業	30社	不動産業	4社
	サービス業	16社	計	123社

※ただし各設問において未回答の企業があります。
※各設問の%表示は、小数第二位を四捨五入しております。

調査結果から

■日本の景気見通し「悪い」が49.6%

中空知管内企業が2024年の日本の景気をどのように見通しているか調査したところ、「悪い」と回答した企業は61社(49.6%)で最多回答となり、「普通」が46社(37.4%)、「良い」が14社(11.4%)となりました。

景気の見通しを「良い-悪い」でみると、1年前の調査(△61.5)に比べて23.3ポイント上昇の△38.2と改善しました。コロナ禍以前の水準に戻りつつありますが、景気の先行きに対して明るくなったとは言えず、慎重な見方が続いています。

業種別では、不動産業で「良い」と回答した企業はなく、卸売業・運輸業で「普通」が最多回答となりました。

■自社の業況見通し「普通」が48.0%

2024年の自社の業況(景気)をどのように見通しているか調査したところ、「普通」と回答した企業は59社(48.0%)で最多回答となり、「悪い」が46社(37.4%)、「良い」が17社(13.8%)となりました。

景気の見通しを「良い-悪い」でみると、1年前の調査(△47.5)に比べて23.9ポイント上昇の△23.6と改善した。自社の業況についても日本の景気見通し同様コロナ禍以前の水準に戻り、改善傾向となりました。

業種別では、サービス業・不動産業で「悪い」と回答した企業の割合が25.0%と低くなっています。

■自社の売上額見通し「変わらない」が38.2%

2024年の自社の売上額の見通しについて調査したところ、「変わらない」と回答した企業は47社(38.2%)で最多回答となり、「減少」が41社(33.3%)、「増加」が34社(27.6%)となりました。

売上額の見通しを「増加-減少」でみると、1年前の調査(△16.4)に比べて10.7ポイント上昇の△5.7となりました。

業種別では、小売業・サービス業で「増加」が「減少」を上回っています。

■3年後までに自社の業況「上向く」が59.3%

自社の業況が上向く時期の見通しについて調査したところ、「すでに上向いている」との回答が18社(14.6%)と、1年前の調査(7.4%)に比べ7.2ポイント上昇しました。

また、3年後までに「上向く」と回答した企業は73社(59.3%)となり、1年前の調査(52.5%)に比べ6.8ポイント上昇しました。

一方で「改善見通しは立たない」と回答した企業は30社(24.4%)となりました。これに業況が上向く次期の見通しを「3年超」と回答した企業を加えると41社(33.3%)となり、1年前の調査(41.0%)に比べ7.7ポイント下降しました。

業種別では、3年後までに「上向く」と回答した企業の割合は不動産業(75.0%)が最も高く、以下製造業(73.7%)、卸売業(71.4%)が続いています。

■「緩やかな上昇(10%未満)」が販売価格で55.3%、仕入価格で65.9%

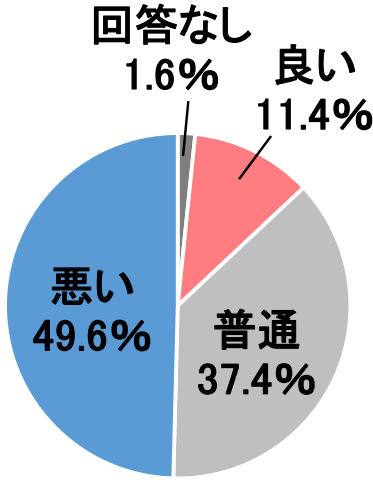
2024年の価格面の動向をどのように見通しているか調査したところ、「緩やかな上昇(10%未満)」と回答した企業は販売価格で68社(55.3%)、仕入価格で81社(65.9%)と最多回答となり、次いで「変わらない(一進一退など)」が販売価格で36社(29.3%)、仕入価格で18社(14.6%)となりました。

業種別では、販売価格について卸売業で「変わらない(一進一退など)」が最多回答となり、仕入価格についてサービス業で全ての企業が「上昇」と回答しました。

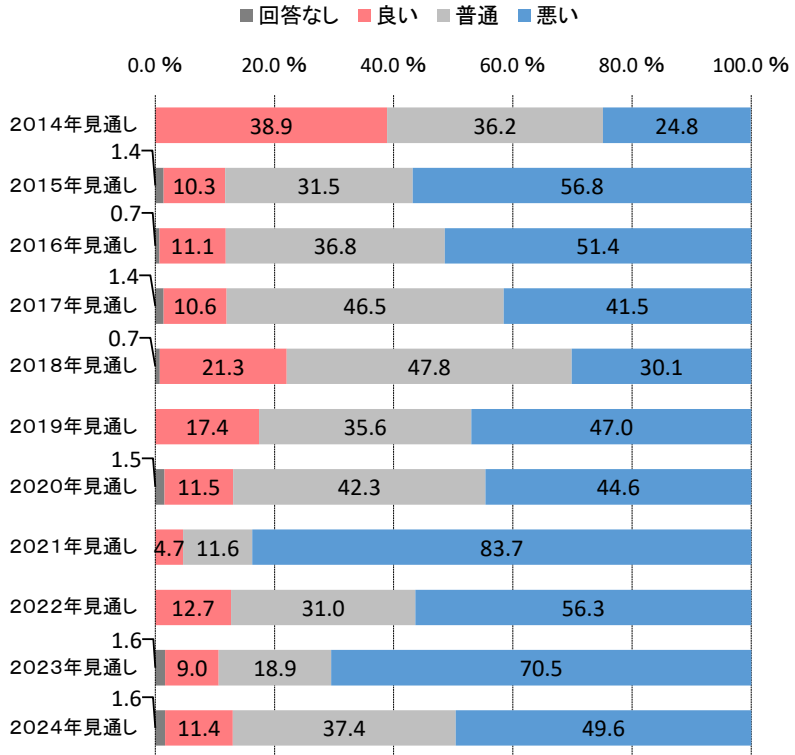
問1. 2024年の日本の景気をどのように見通しますか？

日本の景気見通し「悪い」が49.6%

2024年の日本の景気見通し



日本の景気見通し推移



2024年の日本の景気見通し

単位:社

項目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
非常に良い	0	0	0	0	0	0	0	0
良い	2	0	0	1	0	1	0	0
やや良い	12	2	2	4	1	2	1	0
普通	46	5	4	12	7	12	5	1
やや悪い	45	5	0	9	8	19	2	2
悪い	14	6	1	3	0	3	0	1
非常に悪い	2	1	0	0	0	0	1	0
回答なし	2	0	0	1	0	1	0	0
合計	123	19	7	30	16	38	9	4

中空知管内企業が2024年の日本の景気をどのように見通しているか調査したところ、「悪い」と回答した企業は61社(49.6%)で最多回答となり、「普通」が46社(37.4%)、「良い」が14社(11.4%)となりました。

景気の見通しを「良い-悪い」でみると、1年前の調査(△61.5)に比べて23.3ポイント上昇の△38.2と改善しました。コロナ禍以前の水準に戻つつありますが、景気の先行きに対して明るくなったとは言えず、慎重な見方が続いています。

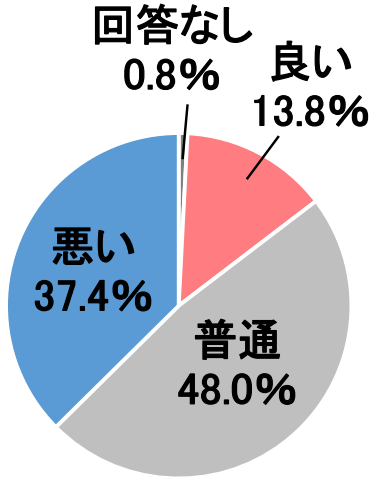
業種別では、不動産業で「良い」と回答した企業はなく、卸売業・運輸業で「普通」が最多回答となりました。

※「良い」・・非常に良い・良い・やや良いの合計
「悪い」・・非常に悪い・悪い・やや悪いの合計

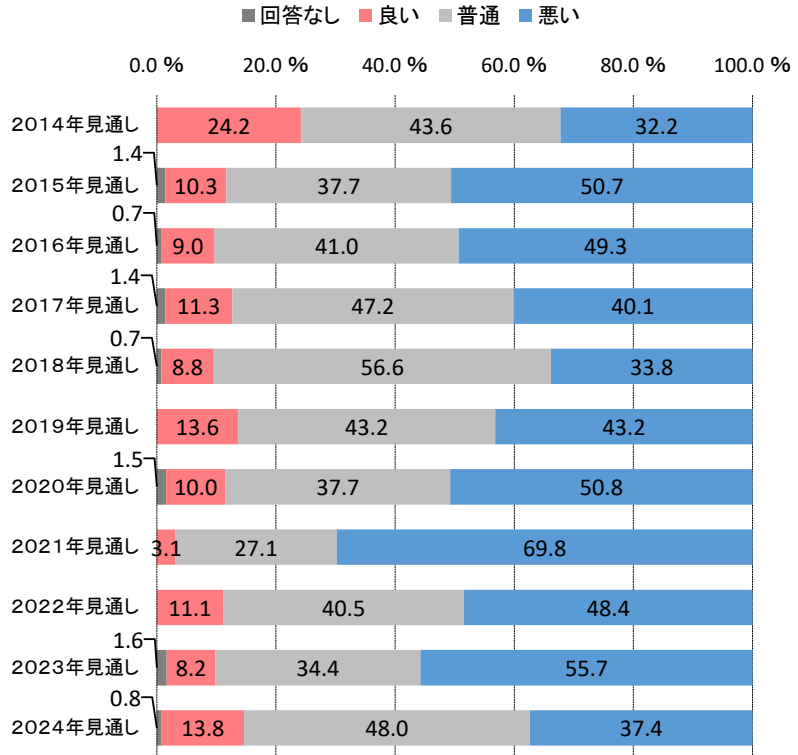
問2. 2024年の自社の業況(景気)をどのように見通しますか？

自社の業況見通し「普通」が48.0%

2024年の自社の業況見通し



自社の業況見通し推移



2024年の自社の業況見通し

単位:社

項目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
非常に良い	0	0	0	0	0	0	0	0
良い	3	0	0	1	0	0	1	1
やや良い	14	2	2	3	1	5	0	1
普通	59	9	2	15	11	17	4	1
やや悪い	39	5	2	10	4	14	3	1
悪い	6	2	1	0	0	2	1	0
非常に悪い	1	1	0	0	0	0	0	0
回答なし	1	0	0	1	0	0	0	0
合計	123	19	7	30	16	38	9	4

2024年の自社の業況(景気)をどのように見通しているか調査したところ、「普通」と回答した企業は59社(48.0%)で最多回答となり、「悪い」が46社(37.4%)、「良い」が17社(13.8%)となりました。

景気の見通しを「良い-悪い」で見ると、1年前の調査(△47.5)に比べて23.9ポイント上昇の△23.6と改善した。自社の業況についても日本の景気見通し同様コロナ禍以前の水準に戻り、改善傾向となりました。

業種別では、サービス業・不動産業で「悪い」と回答した企業の割合が25.0%と低くなっています。

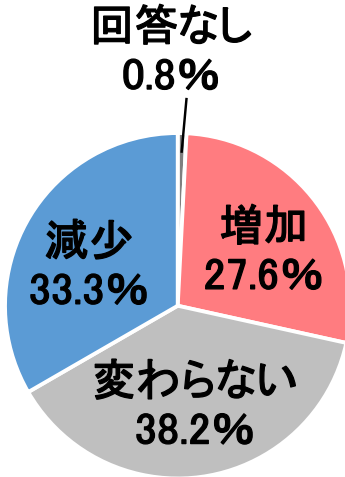
※「良い」・非常に良い・良い・やや良いの合計

「悪い」・非常に悪い・悪い・やや悪いの合計

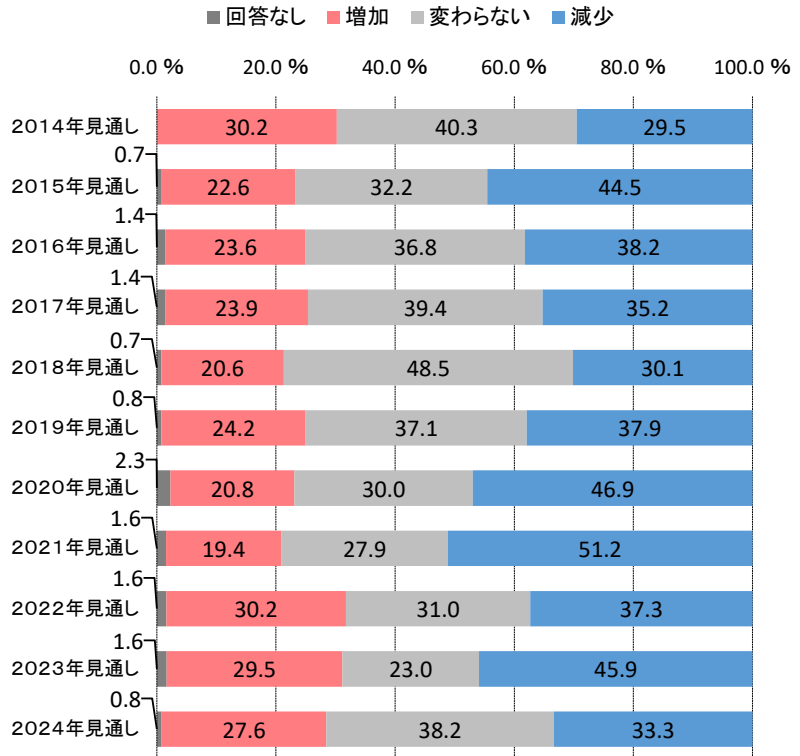
問3. 2024年の自社の売上額をどのように見通しますか？

自社の売上額見通し「変わらない」が38.2%

2024年の自社の売上額見通し



自社の売上額見通し推移



2024年の自社の売上額見通し

単位:社

項目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
30%以上の増加	0	0	0	0	0	0	0	0
20~29%の増加	1	0	0	0	0	0	0	1
10~19%の増加	7	2	1	0	1	1	1	1
10%未満の増加	26	3	2	11	4	5	1	0
変わらない	47	8	0	12	8	15	4	0
10%未満の減少	29	4	4	4	1	12	2	2
10~19%の減少	10	1	0	2	2	5	0	0
20~29%の減少	2	1	0	0	0	0	1	0
30%以上の減少	0	0	0	0	0	0	0	0
回答なし	1	0	0	1	0	0	0	0
合計	123	19	7	30	16	38	9	4

2024年の自社の売上額の見通しについて調査したところ、「変わらない」と回答した企業は47社(38.2%)で最多回答となり、「減少」が41社(33.3%)、「増加」が34社(27.6%)となりました。

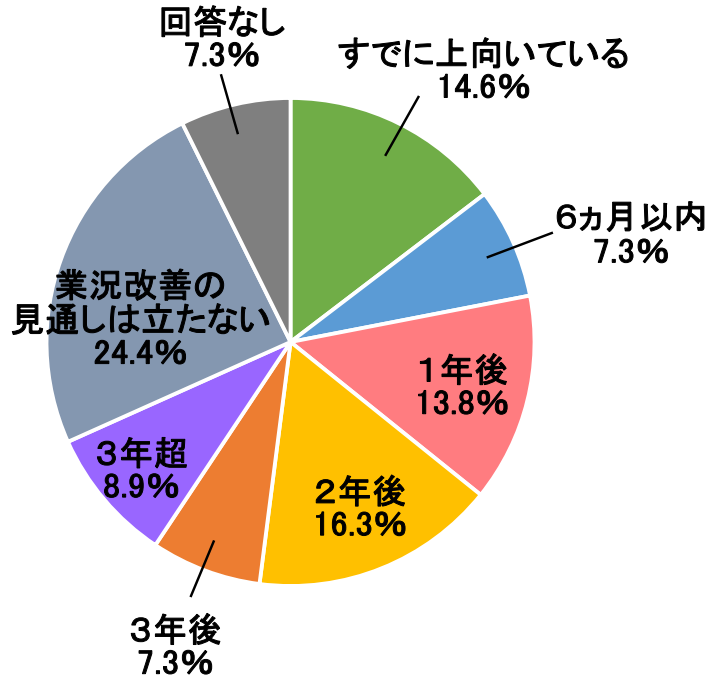
売上額の見通しを「増加-減少」で見ると、1年前の調査(△16.4)に比べて10.7ポイント上昇の△5.7となりました。業種別では、小売業・サービス業で「増加」が「減少」を上回っています。

※「増加」・・・30%以上の増加・20~29%の増加・10~19%の増加・10%未満の増加の合計
「減少」・・・30%以上の減少・20~29%の減少・10~19%の減少・10%未満の減少の合計

問4. 自社の業況が上向き転換点はいつ頃と見通しますか？

3年後までに自社の業況「上向き」が59.3%

自社の業況が上向き時期の見通し



自社の業況が上向き時期の見通し

単位:社

項目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
すでに上向きしている	18	2	0	6	4	3	2	1
6か月以内	9	3	1	3	0	2	0	0
1年後	17	5	1	5	0	4	1	1
2年後	20	3	2	1	4	8	1	1
3年後	9	1	1	0	0	5	2	0
3年超	11	1	0	3	1	5	0	1
業況改善の見通しは立たない	30	3	1	10	6	8	2	0
回答なし	9	1	1	2	1	3	1	0
合計	123	19	7	30	16	38	9	4

自社の業況が上向き時期の見通しについて調査したところ、「すでに上向きしている」との回答が18社(14.6%)と、1年前の調査(7.4%)に比べ7.2ポイント上昇しました。

また、3年後までに「上向き」と回答した企業は73社(59.3%)となり、1年前の調査(52.5%)に比べ6.8ポイント上昇しました。

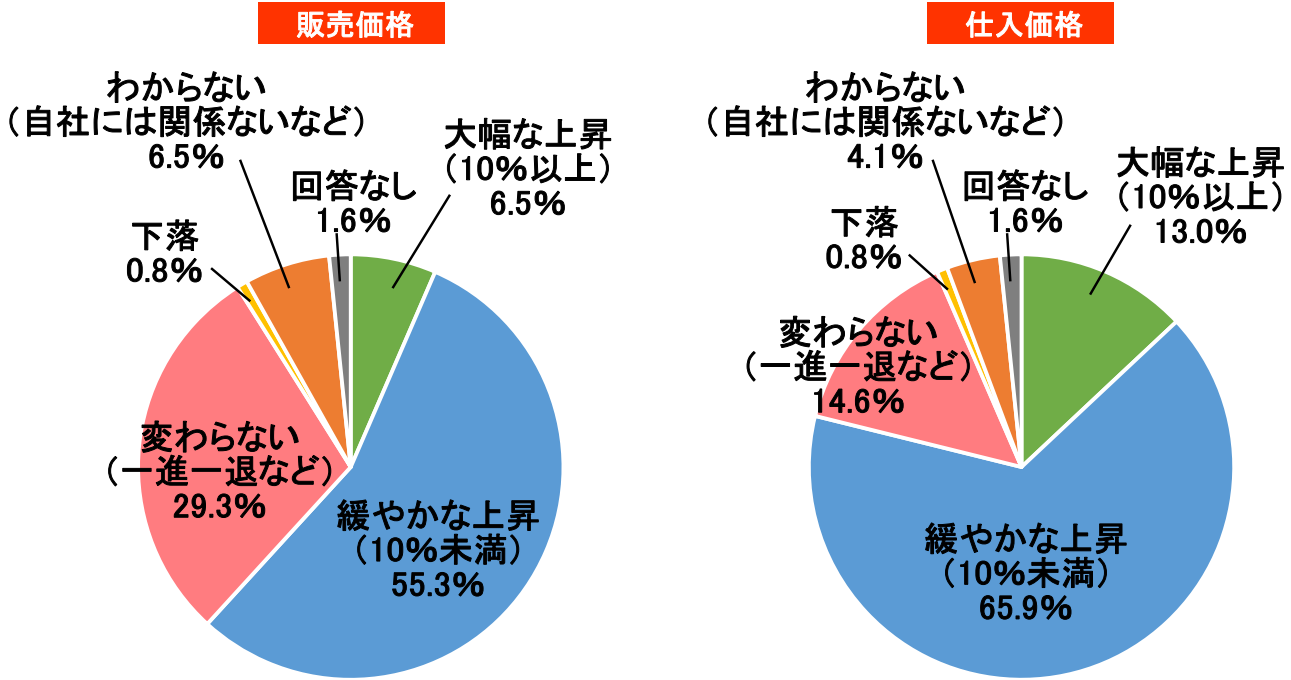
一方で「改善見通しは立たない」と回答した企業は30社(24.4%)となりました。これに業況が上向き次期の見通しを「3年超」と回答した企業を加えると41社(33.3%)となり、1年前の調査(41.0%)に比べ7.7ポイント下降しました。

業種別では、3年後までに「上向き」と回答した企業の割合は不動産業(75.0%)が最も高く、以下製造業(73.7%)、卸売業(71.4%)が続いています。

※3年後までに「上向き」・すでに上向きしている・6ヶ月以内・1年後・2年後・3年後の合計

問5. 2024年の価格面の動向をどのように見通しますか？

「緩やかな上昇(10%未満)」が
販売価格で55.3%、仕入価格で65.9%



2024年の価格面の動向

単位:社

項目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
販売価格	123	19	7	30	16	38	9	4
大幅な上昇(10%以上)	8	2	1	2	1	2	0	0
緩やかな上昇(10%未満)	68	8	2	21	11	19	5	2
変わらない(一進一退など)	36	8	4	6	3	10	4	1
下落	1	0	0	0	0	0	0	1
わからない(自社には関係ないなど)	8	1	0	0	1	6	0	0
回答なし	2	0	0	1	0	1	0	0
仕入価格	123	19	7	30	16	38	9	4
大幅な上昇(10%以上)	16	3	0	2	3	6	2	0
緩やかな上昇(10%未満)	81	11	4	23	13	25	4	1
変わらない(一進一退など)	18	4	3	4	0	2	3	2
下落	1	0	0	0	0	0	0	1
わからない(自社には関係ないなど)	5	1	0	0	0	4	0	0
回答なし	2	0	0	1	0	1	0	0

2024年の価格面の動向をどのように見通しているか調査したところ、「緩やかな上昇(10%未満)」と回答した企業は販売価格で68社(55.3%)、仕入価格で81社(65.9%)と最多回答となり、次いで「変わらない(一進一退など)」が販売価格で36社(29.3%)、仕入価格で18社(14.6%)となりました。

業種別では、販売価格について卸売業で「変わらない(一進一退など)」が最多回答となり、仕入価格についてサービス業で全ての企業が「上昇」と回答しました。

北門信用金庫 企画部(広報)

北海道滝川市栄町3丁目3番4号

TEL (0125)22-1185 (直通)

<https://www.shinkin.co.jp/hokumon/>